

世界を舞台に輝く二人のソリストとTGS、総勢12人がお贈りする
2020 くるるニューイヤーコンサート

…令和・新春の幕開けは

ヴィヴァルディの四季で…

・ソリスト：鈴木舞 × 長尾春花 ・TGS (東京藝大ストリングス)

モーツァルト：アイネクライネナハトムジーク バッハ：二台のヴァイオリンのためのコンチェルト
ヴィヴァルディ：四季(全曲) ※プログラムは変更となる場合がございます。



鈴木 舞

©Yukiko Shibuya



長尾 春花



TGS (Tokyo Geidai Strings)

2020 **1.19** 開演 14:00 (開場 13:30) | 蕨市立 **文化ホールくるる**

チケット：2,500円 (全席自由) ・11月18日より発売開始 ※未就学児の入場はご遠慮ください。

取り扱い：くるる窓口 048-446-8311 / 蕨市民会館 048-445-7660 / e+(イープラス)

お問合せ：蕨市立文化ホールくるる 048-446-8311

主 催：蕨市立文化ホールくるる 共 催：蕨市 / 蕨市教育委員会 企画・制作：(有)プランナーズルームテイクワン

e+ イープラス

スマートフォン
パソコンから
チケット購入!!



埼玉県蕨市中央1-23-8 TEL: 048-446-8311
JR上野より25分・JR池袋駅より22分・JR大宮より15分
JR京浜東北線 蕨駅西口より3分・駐車場はございません



蕨市田喫茶飲食組合
一日一笑 笑顔が最高のおもてなし
一品サービス
<http://warabi-t.net/>

2020 KURURU NEW YEAR CONCERT

2020 1.19 SUN / 文化ホールくるる

世界を舞台に輝く二人のソリストと TGS、総勢 12 人がお贈りする

…令和・新春の幕開けは

ヴィヴァルディの四季で…

モーツァルト：アイネクライネナハトムジーク バッハ：二台のヴァイオリンのためのコンチェルト
ヴィヴァルディ：四季(全曲) ※プログラムは変更となる場合がございます。

Artist profile :

鈴木 舞

東京藝大附属高校、同大学を経て、ローザンヌ、ザルツブルグ、ミュンヘンで研鑽を重ねる。

2007年チャイコフスキー国際コンクール(ロシア)最年少セミファイナリスト、13年ヴァーツラフ・フムル国際ヴァイオリンコンクール(クロアチア)第1位。オルフェウス室内楽コンクール(スイス)第1位。16年スピヴァコフ国際ヴァイオリンコンクール(ロシア)第2位。

これまでに小林研一郎、円光寺雅彦、飯森範親、金聖響、ニコラス・ミルトン、ヨルマ・パヌラ、イヴァン・レプシッチらの指揮で、読売日響、東響、クオピオ響、ホーフ響、モラヴィアフィル、ローザンヌ室内管、クロアチア放送響、ザグレブフィル等と共演を重ねるほか、各地で室内楽やリサイタルに招かれている。東京交響楽団と録音したベートーヴェン：ヴァイオリン協奏曲〜第3楽章、マスネ：タイスの瞑想曲が日経ミュージックセレクションCD「モーニング・イン・クラシックス」に収録された。

2012年度チャンネル・ピグマリオン・デイズ・アーティスト。2017年にキングレコードよりデビューCD「Mai favorite」をリリース。使用楽器は1683年製のニコロ・アマティ。

Web site: maiviolin.com

長尾 春花

東京藝術大学、同修士課程を首席で卒業。同博士課程を修了、博士号(音楽)取得。リスト音楽院ヴィオラ科修士課程修了。

日本音楽コンクール第1位、増沢賞、レウカディア賞、鷺見賞、黒柳賞。

ロン＝ティボー国際音楽コンクール、仙台国際音楽コンクール、ドミニク・ペカット国際コンクール入賞。静岡県文化奨励賞、上尾市栄誉賞、松方ホール音楽賞受賞。ジャンルカ・カンポキアーロ国際音楽コンクール第1位、特別賞、Gianluca Campochiaro賞(全部門1位)受賞。カール・フレッシュ国際ヴァイオリンコンクール第1位、優れたモーツァルトの演奏に贈られる特別賞受賞。ヴァイオリンを江藤アンジェラ、故江藤俊哉、ジェラルド・プーレ、ボリス・クシュニール、青木高志、故岡山潔、玉井菜採、ペレーニ・エステルスの各氏に、ヴィオラをバールジョニー・ラースローに師事。

2018年、NYカーネギーホールにて、ハンガリー国立歌劇場管弦楽団とF.ヴァッキのヴァイオリン協奏曲を演奏。2016年よりハンガリー国立歌劇場管弦楽団コンサートマスター。Szigeti Quartet(シゲティ弦楽四重奏団)第1ヴァイオリン。2019年よりリスト音楽院にて教鞭を執る。

TGS (東京藝大ストリングス)

東京芸術大学2008年入学の同期生を中心に編成される弦楽アンサンブル。

現在の東京芸術大学学長の澤和樹氏(ヴァイオリン)、器楽科教授の川崎和憲氏(ヴィオラ)らが学生時代に自主的に結成していた「ラーチェロ室内合奏団」の活動を知ったことが結成のきっかけとなった。

2011年3月6日、川口市民会館にて催された「第22回小さな音楽会～弦楽合奏のたのしみ～」を期に、発足。

指揮者なしの弦楽合奏スタイルで、バロックからロマン派、日本の作曲家による現代作品、ポップスに至るまでの幅広いレパートリーを持ち、東京・兵庫・九州等での自主公演、旧奏楽堂やラ・フォル・ジュルネ等での委託公演、東北の震災の復興支援活動としての演奏、スイス・ハンガリー等海外への遠征公演など、精力的に活動を展開中。

グループ名「TGS」は、東京芸術大学教授の澤和樹氏が名付けたものであり、その由来は、

「T」=「Tokyo(東京)」「G」=「Geidai(芸大)」「S」=「Strings(ストリングス)」